

# 鳴立庵だより

鳴立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場でございます。  
初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれているでございますよ。



鳴立庵大使「えんいくん」

## 今月の俳句

俳号で孫に呼ばれる文化の日

神奈川県茅ヶ崎市 清水 茄子

季節は「文化の日」。戦前は「明治節」といって明治天皇の誕生日として祝われていたが、戦後、「文化国家」を目指すという趣旨の休日として制定された。一句は、そんな「文化の日」に因んで、「孫」が俳句を趣味としている「お婆さん」(あるいは、お爺さんでも)を、敢えて「俳句」で呼んでくれた、というのである。これは「揶揄」ではなく、「親しみの表現」であり、軽い尊敬も含まれていよう。そんな「お孫さん」がいつの日にか「俳句」に親しむ日があればとも思っている。

(鳴立庵庵主 本井 英)

## 今月の短歌

少しづつ記憶の薄れ行く父の笑顔あふれるさくらんぼ狩り

岐阜県岐阜市 田中 恭司

近年は一人暮らしになると、あるいはそでなくても、高齢者施設に入居するケースがふえました。当人にとっても次世代にとっても無意味な摩擦を起こさない合理的なシステムといえます。けれども、老いに連続して起こる諸々と子ども世代が間に接触する機会が減ってしまします。この歌は、家族で「さくらんぼ狩り」に行ったときの豊かな「父」の表情を詠んでいます。「記憶の薄れゆく」過程をつぶさに感じ、受け入れているからこそ、「父の笑顔」にかりそめでない喜びを発見できたのです。

(西行祭選者 今井 恵子)

## 「めいど いん おおいそ」登録産品紹介

問 大磯らしい潤いづくり協議会 (大磯町商工会)  
☎ (61) 0871

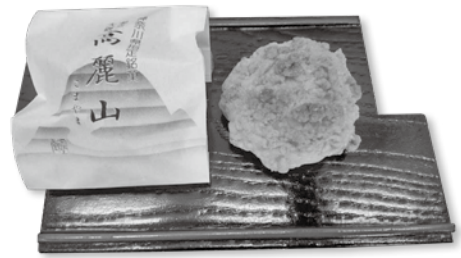


【福月洋装店】  
問合せ先：  
HPはこちら



波のピンタックアートワンピース

【榎友月堂】  
問合せ先：(31) 1897



高麗山

